

# 山手台小学校だより 3月号

令和4年(2022年)3月1日 宝塚市立山手台小学校長 井上 秀清

## 『お互いを大切に』意識高く ～「学校アンケート」の結果より～



新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の急速な感染拡大による「まん延防止等重点措置」が続いている中ではありますが、早いもので3学期も最後の月を迎え、今年度もいよいよよまよめの時期となります。それぞれの学年や子どもたち一人ひとりが目標としてきた学習面・生活面での達成の様子を確認しながら、しっかりと年度末のまとめをしていきたいと思えます。

また、春の訪れは別れの季節でもあります。同じクラスの仲間や先生と一緒に勉強できる時間も少なくなってきました。特に6年生は、いろいろな場面でリーダーとなり、山手台小をより良くしようとして一生懸命努力してくれました。その6年生はいよいよ卒業式の練習も始まります。たくさんの思い出ができた山手台小との別れ、中学生になる喜びや不安など、様々な思いを感じながら、山手台小の仲間と共に生活できる残りの時間を大切に過ごし、新たな旅立ちに夢と希望をもって未来へ大きくはばたいていってほしいと思えます。また、在校生には、最高学年としてこの一年間頑張ってくれた6年生への感謝の気持ちを高め、6年生の卒業を心からお祝いするとともに、次の学年への自覚を高めていきたいと考えています。

さて、先日の「学校アンケート」の実施にあたっては、保護者の皆様には大変お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今回実施したアンケート結果を昨年度の結果と比較すると、昨年度同様「友だちを大切に、仲良くしている」の肯定的回答が、児童アンケート・保護者アンケートともに最も高い割合となっており、本校の学校教育目標の中で特に大切にしたい「お互いを大切に」という意識が高いことが伺え、とても嬉しく思います。しかし、「自分の思いを人に伝えられている」「あいさつ」「外で遊ぶ」などについては、今後も学校と家庭が連携して改善していくべき大きな課題であると考えています。また、「物を大切に」「早寝早起き・朝ご飯」など、項目によっては、肯定的回答の割合が児童アンケートと保護者アンケートの間でかなりの差が見られるものもありました。

今回の結果は、本校教職員による学校評価（自己評価）の結果とともに、次年度の教育活動をより充実させるための方策や改善すべき点について教職員で協議するとともに、学校関係者評価委員会（地域・PTA・教職員の代表で構成する学校運営協議会）でご意見をいただき、今年度の学校評価として来年度の学校運営や教育活動に生かしてまいります。ご家庭におかれましても、この結果を参考にしながら、お子さまのさらなる成長を支援していただければと思っています。

